

市政を聞く 一般質問

6月定例会の一般質問は、11日、12日の両日行われ、10名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

一般質問発言通告一覧表

(平成15年第3回6月小浜市議会定例会)

通告者	発言の内容
池尾 正彦	1. 平成15年度の水稲の病害虫防除対策について 2. 小浜線電化後の問題点について 3. 携帯電話の不通話地域の解消について 4. 学校教育等について
山本 益弘	1. 若狭路博2003開催におけるの諸準備について 2. 不動寺頭首口の魚道について 3. 清掃センターの整理について
風呂 繁昭	1. 小浜小学校建設について 2. 雇用創出について 3. 中心市街地まちづくりについて 4. 第7次海岸整備事業について
三木 尚	1. 拉致問題、現状と今後の取り組みについて 2. 行政サービスの向上について 3. 市町村合併について 4. 国、県の原子力政策について 5. 若者の働く場所の確保について
下中 雅之	1. 後見的支援を要する障害者支援について 2. 観光行政について 3. 子供の読書推進について
井上 万治郎	1. 若狭路博の交通対策について問う 2. 後瀬山城跡遊歩道整備について 3. 市内の幼・小・中・高に於ける禁煙宣言 4. 納税システムについて問う
池田 英之	1. 市町村合併問題について 2. 「若狭路博2003」の対応について 3. 新型肺炎（SARS）の対応について
宮崎 治宇蔵	1. 老朽学校施設の問題について 2. 小浜線電化開業2ヶ月、乗客の苦情について 3. 雇用・住宅支援策について
清水 正信	1. 食のまちづくりと地域の活性化策について
杓子 明	1. 若狭路博2003「もてなし」について 2. 健全財政について



池尾 正彦 議員

問1 小浜線電化後の問題点について。

答 座席数が減り、乗客が不便をきたしている。嶺南八市町村長連名でJR西日本金沢支社長に四両編成車両の活用と座席数増加を要望。

問2 平成15年度の水稲の病害虫防除対策について。

答 今までは、二回とも有人ヘリで航空防除を実施していた。

が、環境に配慮し、有人ヘリ一回、無人ヘリ一回の防除方法にひとまず切り替える。

問3 学校教育等について。
① 小・中学校の二学期制。

答 今のところは考えていない。

② 学校給食の民間委託。
答 校長会等に理解を得る努力をしているところである。

問4 携帯電話の不通話地域の解消について。

答 不通話の解消に向け、地元熱意が電話会社に伝わるよう小浜市も全力を挙げて対応する。



山本 益弘 議員

問1 若狭路博の諸準備について、市民の協力体制・交通整備・子供の参加・竜前地区の振興策を問う。

答 市民・行政・民間事業者が一体となり、市民一人一役を担って「もてなし」を提供したい。ボランティアは延べ四千三百人が必要。広く募っていく。交通整備は特に西側からの流入車両の渋滞、湯岡橋交差点等の渋滞が生じないように検討する。駐車場も鯉川駐車場も含め考え

問2 不動寺頭首口の魚道について問う。

る。子供たちの参加はできるだけ考えている。竜前地区の市道分国寺線は秋以降着手し、金屋竜前線は若狭路博で検討する。

問3 全面魚道を推進していく。

答 旧清掃センターの解体予定を問う。

答 解体に必要なダイオキシン類の測定は平成12年度に完了。多額の予算が必要なため最終処分場の建設後解体をしたい。施設の安全管理をして施設確認・周辺パトロール・清掃の実施、青井川の水質測定も実施していく。



風呂 繁昭 議員

問1 小浜小学校建設について。

答 土地売買に関する覚書を締結し、芝浦グラウンドに平成二十年四月の開校を確約する。跡地は資料館建設を含め後瀬山城跡を整備する。校区の統廃合は施設等研究委員会の答申をみる。隣接地入学は柔軟に対処する。

問2 雇用創出について。

答 市内各事業所へ訪問し、助成制度をPRしている。企業誘致は雇用アドバイザー、御食国大使を通して販売促進PRに努める。

問3 中心市街地まちづくりについて。

答 商店街等へのワーキング会議の組織化、小浜版TMO設立を図る。縦貫線は景観形成地区指定助成支援策を進め電線地中化を図る。西部地区は国の伝統的建造物群保存地区の指定へ気運醸成を図る。

問4 第七次海岸環境整備事業について。

答 事業採択され、測量、調査、詳細設計のため、漁業、観光、振興会等との協議の場を早急に設ける。



三木 尚 議員

問 1 政治信条である「誇りのもてるまちづくり」に取り組みむことを宣言。以下五問の質問。

問 2 行政サービスの向上について、庁舎窓口で「いらっしやいませ」「ありがとっ」ございますの挨拶言葉の採用、現在五時までの受付を六時まで延長および休日の庁舎外での窓口業務の可否について。

問 3 市町村合併を急ぐべき。

問 4 原子力行政のあり方について問う。

概要 特に立地隣接自治体間で法律により大きな格差が付けられてきた事を資料で図解。大飯発電所には大飯町全域より小浜市全域の方が近いことを証明する。国、県指導の原発行政が持つ歪み、矛盾を指摘。単なる賛成反対でなく真の共存共栄を提案する。

問 5 若年層の雇用問題。特に高校生の就職先の確保を強く訴える。



下中 雅之 議員

問 1 小浜市における現在の実態と後見的支援を要する障害者の方たちの相談、助言、指導などの窓口があるのか又、現在の対応策について問う。

問 2 今後の成年後見制度に対する取り組みについて問う。

問 3 関係機関と連携し、助言、指導を行っていく。条例の制定も検討する。

問 4 若狭路博メインイベントを控え細やかな観光案内板の設置について問う。

問 5 開幕までに英語、韓国語も併記した看板を十五カ所、新設し三つのゲートサインもリニューアルする。

答 赤ちゃんの絵本の贈呈については、今後、検討していく。



井上 万治郎 議員

問 1 若狭路博の交通対策を問う。

問 2 後瀬山遊歩道の整備状況は。

問 3 健康増進法の施行による取り組みについて、学校、体育館、病院、官公庁施設等では禁煙または受動喫煙の防止対策を講じるように求めているが。

問 4 学校等では分煙とし、食文化館は全館禁煙とする。

問 5 個人情報保護の観点から市税の銀行、郵便振込みを推進すべきではないか。

答 納付書を個人に封書で送られるよう納税貯蓄組合長と協議したい。



池田 英之 議員

問 1 合併特例法の期限内の市町村合併を考えた場合、待ったなしの状況であるが、取り組みの決意は。

問 2 「若狭路博2003」対応について、今、最も大切なことは。

問 3 多くの市民やボランティアの方々が各種イベントに参加して頂くことよって、市民・行政・民間事業者が一体となり、市民総参加の取り組み体制を確立すること。

問 4 合併特例法の期限内に小浜市・上中町・名田庄村の三市町村での対等合併を目指しており、庁内に市町村合併推進室を設置し、枠組みが合意され次第、即応できる体制を整えた。法定協議会設立のタイムリミットは今秋が期限。

問 5 予想外の苦情があり困惑している。根本的な改善は十月ダイヤ改正後になる。若狭路博までに応急措置として補助席や増便等の要望をしていく。



宮崎治宇蔵 議員

問 1 老朽化に伴い壁面のひび割れ、雨漏り、給排水の故障など、施設設備の改善および急を要する老朽化した学校施設の問題について。

問 2 小浜線の電化開業後の利用者之苦情をどう認識しているのか。改善策について。

問 3 年間四、五校の工事を実施している。

問 4 予想外の苦情があり困惑している。根本的な改善は十月ダイヤ改正後になる。若狭路博までに応急措置として補助席や増便等の要望をしていく。

問 5 現在の市職員の隔年採用を改め、若年層の雇用を拡大するために毎年採用してはどうか。

答 平成十六年四月採用職員については、技術職員の採用を考えている。

問 6 地域経済活性化の対策として住宅改修助成実施できないか。